

	2011年11月	2011年12月	2012年1月	最近の経済動向
世界	-G20成長持続の各国協調、経常黒字国の為替柔軟化、ユーロ市場安定 -GDP:12年:日本▲0.5→2、欧 1.6 米 1.7 新興国 7.2→6 -世界自動車生産11年4%増 -世界半導体売上10月 1.8%減	-10-12月:世界のM&A:44%減、世界パソコン出荷 0.2%減 -ドバイ原油価格 108.3 ドル -11月:世界半導体売上 3.1%減		・中国内需・輸出で成長維持、インフレ7%台成長、NIES/ASEAN、国により明暗。米成長鈍化も輸出・消費堅調。欧州輸出鈍化・消費低迷。日本景気低迷。欧米信用不安、株価下落・世界的インフレ、中東政変が懸念材料
日本	- 財政・金融 :復興財源法 - 株価 : 7日 8,761円、24日 8,165円 - 物価 :10月:消費者 0.1%下落 - 雇用 :10月:失業率 4.5% 0.4ポイント上昇 - 所得 :10月:現金給与 0.1%増 - 消費 :10月:小売販売 1.9%増、新車販売 25.2%増、 - 受注 :10月:工作機械 26%増、 - 生産 :10月:鉄工業 0.1%増、在庫 7%増、機械 1.8%増 - 貿易 :10月:輸出 3.7%減、輸入 17.9%増 - 収益 :7-9月:経常益:上場企業 21%減(4-6月 13%減)、4-9月:純益:丸紅 50%増 1,030億円、三菱重 2.3倍 398億円、ダイキン 16%増 470億円、キーエンス 5%増、日立 68%減、東芝 19%減、三菱電 2%減、キヤノン 7%減、リコー 49%減、エプソン 2%減、大日印 51%減、営業益:上場企業 16%減、島津 62%増、ヤンマー 30%増、トヨタ 326億円赤字、スズキ 10%減、12年3月期:純益:コマツ 26%増 2800億円、いすゞ 43%増、ダイキン 2.3倍 460億円、パナソニック 4200億円赤字、ソニー 900億円赤字、富士重 64%減、IHI 64%減、営業益:日立 68%減 500億円、富士通 20億円赤字、経常益:製造業 16%減、 - 投資 :7-9月:9.8%減、12年:IHI家庭用リチウム電池量産	- 景気 :12月:短観大企業▲4半年一 - 株価 : 5日 8,682円、19日 8,288円 - 所得 :冬ボーナス3%増4年ぶり+、11月:現金給与と総額 1%減、 - 物価 :11月:消費者 0.2%下落 - 消費 :11月:消費支出 3.2%減、小売業販売 2.3%減、新車販売 22.2%増、薄型TV 90.5%減 - 受注 :11月:機械 6.8%減、工作機械 15.9%増、国内 22%増、産業機械 4.9%増 - 生産 :7ファンク自動車用溶接ロボット月 5千台世界需要 4割、11月:鉄工業 4%減、在庫 8%増、乗用車 4.5%増、79万台 - 貿易 :11月:輸出 4.5%減、輸入 11.4%増 - 収益 :11月期:営業益:不二越 80%増、3月期:純益:トヨタ 56%減 1800億円、 - 投資 :コマツ基幹部部品増産 150億円、スズキ低燃費エンジン生産、日立建機超大型鉄山機械部品量産 400億円、10月:機械受注(民需)前月比 6.9%減、11年度:14.4%増、海外 39.2%増、12年:パナソニック有機EL製造設備導入	- GDP :24年度:2.2%見通し - 財政・金融 :24年度:一般歳入 90.3兆円(国債歳入 44.2兆円)、消費税率 14年 4月 8%、15年 10月 10% - 株価 : 6日 8,395円、13日 8,500円 - 物価 :東電、4月から電力料金引上 - 消費 :11年:自動車販売 15.1%減 421万台 - 受注 :12月:工作機械 17.4%増 - 収益 :4-12月:営業益:日立建機 45%増 330億円、日精工 6%増 350億円、 - 投資 :11年:日本企業のM&A 78%増、684億ドル、12年度:携帯3社 1.6兆円	(前々月)・GDP7-9月は 5.6%増と4期ぶり+。上場企業経常益 7-9月 21%減。株価は欧州信用不安で低水準上下。輸出は低迷。設備投資も低迷。所得の伸び停滞。失業率は高水準もやや改善。消費は低位やや回復傾向、車販売回復傾向。生産も低位横這い。景気は先行き不透明。景気回復、雇用拡大が課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9月は 5.6%増と4期ぶり+。上場企業経常益 7-9月 21%減。株価は欧州信用不安もやや回復傾向。輸出は低迷。設備投資も低迷。所得の伸び停滞。失業率は上昇傾向。消費は再び減少、車販売回復傾向。生産低迷、在庫増。景気は先行き不透明。景気回復、雇用拡大が課題。極端な円高等による輸出の低迷が懸念材料
アジア・大洋州	- 株価 :上海 4日 2,527、25日 2,380 - 中国 :10月:輸出 15.9%増、輸入 28.7%増、製造業景況感 50.4、0.8ポイント低下、消費者物価 5.5%鈍化、新車販売 1.1%減 152万台5ヶ月ぶり一、 - 韓国 :7-9月:営業益:主要 147社 8.3%減、サムスン 12.6%減、LG 3百万ウォン赤字、現代自 18.9%増、現代重 24.3%増、10月:輸出 9.3%増 - 台湾 :10月:輸出 11.7%増、海外受注高 4.4%増、輸入 11.8%増、鉄工業生産 1.4%増 - フィリピン :7-9月:GDP 前期比年率 1.2%、10月:消費者物価 5.2% - インドネシア :政策金利 0.5%引下げ年 6%へ、10月:消費者物価 4.4% - タイ :洪水でトヨタ 7カ国で減産、10月:自動車生産 68%減 殆ど日本車、 - インド :7-9月:GDP 6.9%増、純益:主要 29社 9%増、10月:鉄工業生産 5.1%減 2年4ヶ月ぶり、10月:新車販売 13%減、卸売物価 9.7%増	- 政治 :17日北朝鮮金正日死去 - 株価 :上海 5日 2,345、19日 2,167 - 中国 :預金準備率 0.5%引下げ3年ぶり、11月:消費財小売額 17.3%増、輸出 13.8%増、輸入 22.1%増、鉄工業生産 12.4%増、固定資産投資 21.2%増、対中直接投資 9.8%減 2年4ヶ月ぶり一、新車販売 2.4%減、製造業景況感 49、1.4ポイント低下、消費者物価 4.2% - 韓国 :11月:輸出 12.7%増、輸入 11.1%増、鉄工業生産前月比 0.4%減、12年:サムスン、LG有機ELTV投入、現代自 9,500億円 16%増投資 - 台湾 :11月:鉄工業生産 3.6%減、輸出 1.3%増 2年ぶり一桁台、欧州向け 21.9%減、海外受注 2.5%増 - ベトナム :11月:消費者物価 18.1%上昇 - インドネシア :11月:消費者物価 4.1% - タイ :キヤノン工場一部再開、11月:自動車生産 85%減、新車販売 68%減、輸出 12%減、消費者物価 4.2% - インド :政策金利据置年 8.5%、11月:新車販売 14%増、卸売物価 9.1%、11年度:GDP 7.5%増	- 株価 :上海 4日 2,194 - 中国 :12月:輸出 13.4%増、製造業景況感前月比 1.3ポイント増 50.3、消費者物価 4.1%、11年:輸出 20.3%増、入 24.9%増、新車販売 2.5%増 1,850万台、人民元 4.7%高、12年:GDP 7%増 - 韓国 :10-12月:営業益:サムスン 73%増 3,470億円、11年:輸出 19%増 42.9兆円、新車販売 0.6%増 147万台 - 台湾 :12月:輸出 0.6%増、入 2.7%減 - フィリピン :12月:消費者物価 4.2% - ベトナム :11年:GDP実質 5.9%増、消費者物価 18.6%上昇 - タイ :12月:消費者物価 3.5% - シンガポール :10-12月:GDP 4.9%減、11年:4.8%増 - インドネシア :11年:消費者物価 3.8% - インド :政策金利 6%据置、11月:鉄工業生産 5.9%増、11年:新車販売 8%増 329万台	(前々月)・中国は7-9月 GDP 9.1%、投資・消費・輸出の順に好調維持、インフレ鈍化、車販売やや低調。韓国、台湾、生産・輸出鈍化。共に電子中心に企業業績低下。ベトナム、10%台成長も高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン成長鈍化。タイ洪水で生産低迷。インド、7%台成長も生産減速。持続的成長が課題。 (前・今月)・中国は7-9月 GDP 9.1%、投資・消費高水準維持、輸出・生産やや鈍化、インフレ沈静化、車販売やや低調。韓国、輸出好調も生産減速、企業業績好調。台湾、輸出横這い、生産低迷。ベトナム、6%台成長で高インフレ。インドネシア、6%台成長もインフレ沈静化。マレーシア、フィリピン成長鈍化。シンガポールはマイナス成長。タイ洪水で生産低迷。インド、7%台成長も生産減速、車販売回復。持続的成長が課題。

北米	<p>-GDP:7-9月:1.8%(確定) -景気:10月:製造業景況感 50.8% 0.8ポイント低下 -株価:NYダウ9日1万2,170ドル、26日1万1,231ドル -物価:10月:消費者前月比0.1%下落、卸売13.1%増、住宅価格2.8%下落 -所得:10月:個人所得前月比0.4%増2ヶ月連続+ -雇用:10月:失業率9%0.1ポイント改善、8万人増 -消費:10月:個人消費前月比0.1%増、主要小売売上高7.2%増、新車販売7.5%増5ヶ月+、住宅着工16.5%増、新築販売8.9%増 -受注:10月:耐久財9.2%増 -生産:10月:鉱工業前月比0.7%増6ヶ月+ -貿易:10月:輸出9.9%増、輸入9.3%増 -収益:7-9月:純益:GM12%減、8-10月:シスコ8%減、デル9%増690億円、HP91%減184億円プリンター落込み、タブレット撤退</p>	<p>-景気:FRB 経済は緩やかに拡大、金融政策維持、11月:消費者信頼感 56、15.1ポイント上昇、製造業景況感 52.7%前月比1.9ポイント上昇 -株価:NYダウ8日1万2,196ドル、20日1万1,766ドル、22日1万2050ドル -物価:11月:卸売5.7%増 -所得:11月:個人所得前月比0.1%増3ヶ月連続+ -雇用:11月:失業率8.6%0.4ポイント改善、12万人増 -消費:11月:個人消費前月比0.1%増、5ヶ月+、小売売上高6.7%増、主要小売売上高3.2%増、卸売売上高11.3%増、耐久消費財9.5%増、新車販売13.9%増、住宅着工24.3%増、新築住宅販売9.8%増、 -生産:11月:鉱工業前月比0.2%減7ヶ月ぶり -貿易:11月:輸出11.2%増、輸入14.1%増 -収益:9-11月:純益:RIM71%減</p>	<p>-景気:FRB 経済は緩やかなペースで拡大、12月:製造業景況感 1.5ポイント上昇53.9へ、 -株価:NYダウ11日1万2,489ドル、13日1万2,355ドル -消費:12月:小売売上高前月比0.1%増、11-12月:主要小売売上高3.3%増、11年:小売売上高7.7%増、主要小売売上高4.7%増、新車販売10.3%増1,277万台、</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月2%増で9期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で大幅下落もやや回復。企業収益7-9月迄8期連続+。輸出は好調。失業率高水準もやや改善。個人消費は堅調、車・住宅販売回復傾向。投資は回復傾向。受注、生産増加傾向。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDPは7-9月2%増で9期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で大幅下落もやや回復。企業収益7-9月迄8期連続+。輸出は好調。失業率高水準もやや改善。個人消費は堅調、車・住宅販売回復傾向。投資は回復傾向。受注、生産やや鈍化。高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:7-9月:ユーロ1.4、独2.6、仏1.6、英0.5、蘭1.1 -財政・金融:4日ECB0.25%引下げ年1.25%へ、ギリシャEU包括支援策受入れ、10日イタリア国債危険水域7.4%、18日スペイン国債6.8% -株価:英FTSE2日5,421、4日5,545 -雇用:バヤ、シーメンス1万7千人人員削減 -消費:9月:小売売上高:ユーロ1.5%減、独0.2%増、仏2%増、英1.5%増、スペイン5.8%減、ポーランド0.3%増、10月:小売売上:ユーロ0.4%減、独1.4、仏3.8、英2、新車販売:EU3.2%減、独2.6%、仏7.7%減、英4.2%減、伊9.2%減、スペイン6.4%減 -受注:9月:製造業:ユーロ1.6%増、独3.8%増、仏3.1%増、英3.4%減、伊4.3%減、蘭4.8%減、スペイン3.4%増、ポーランド18%増 -生産:10月:鉱工業:ユーロ1.3%増、独4.2%増、仏1.4%増、英2%減、伊4.2%減、スペイン4%減、ポーランド7.1%増 -貿易:10月:ユーロ輸出9.9%増、輸入9.3%増</p>	<p>-GDP:10-12月:前期比:独0.25%減、仏0.2%減、11年:独3%増、12年:EU予測:ユーロ1.5%→0.5%、独2.9→0.8%、仏1.6→0.6%、英0.7%、伊0.5→0.1%、スペイン0.7→0.7% -財政・金融:欧州金融安定化基金12年1月から拡大、9日欧州中銀0.25%下げ年1%へ、10日EU首脳会議①安定化基金機能強化、②IMFの活用、③ECBによる基金の国債購入、④財政規律強化の枠組み -景気:11月:製造業景気指数46.4、0.7ポイント低下 -株価:英FTSE6日5,567、20日5,364、22日5419 -消費:11月:新車販売:独3%増</p>	<p>-株価:英FTSE12日5,662、 -消費:12月:新車販売:独6%増24.4万台、11年:新車販売:独9%増317万台 -投資:欧州エネルギー大手風力発電に7千億円</p>	<p>(前々月)・GDP7-9月0.1%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価大幅下落からやや回復。企業業績は自動車は回復傾向、電子業界悪化。失業率最悪の水準、車販売低迷、個人消費は依然低迷。受注、生産はやや増加。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDP7-9月1.4%増、輸出主導も鈍化。信用不安で株価はやや回復。企業業績は自動車は回復傾向、電子業界悪化。失業率最悪の水準、車販売低迷、個人消費は依然低迷。受注、生産はやや増加。信用不安の解消、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-イラク:三菱商、ダッチシェルとLNGプラント建設3500億円 -アングラ:双日、三菱重、肥料プラント受注1千億円</p>	<p>-イラク:19日米軍、イラク撤収完了8年9ヶ月駐留 -トルコ:11年:GDP7.8%増</p>	<p>-イラク:三井物産、現地政府と大型肥料工場1500億円投資、18年操業</p>	<p>・主要国経済はアラブ政変で停滞。太陽光、原子力、電力、石化プロジェクトに影響。アラブ政変収束へ、復興需要も。イラク・アフガン、中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:7-9月:GDP前期比0.04%減、個人消費0.1%減、固定資本投資0.2%減</p>	<p>-ブラジル:1日0.5%利下げ年11%へ</p>	<p>-ブラジル:11年:車販売3.4%増363 -メキシコ:日産1,560億円投資新工場建設13年末稼働年60万台</p>	<p>・ブラジル経済はインフレ、金融引締等で成長横這いへ。メキシコ経済も低成長へ。持続的成長が課題。</p>
露東欧		<p>-ロシア:政策金利0.25%引下げ年8%へ</p>	<p>-ロシア:11年:GDP4.2%増、新車販売39%増、265万台</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まり、新車販売、投資等内需中心に経済堅調。持続的回復が課題。</p>

中東諸国、ロシア、ブラジル、メキシコ 「経済動向 (国名)」で検索→世界のビジネスニュースで